

水はじく風呂敷 高評価

桐生・朝倉染布「ながれ」 日米独でデザイン賞

桐生市の染布会社「朝倉染布」が製造・販売する水も運べる撥水加工の風呂敷「ながれ」が欧州でデザイン賞を受賞した。デザイン賞は日本、米国に続いて3地域目。主要地域での高評価をてこに国内の販売ルート拡大や今後の海外展開に生かしていく考えだ。

受賞したのは、ドイツの「レッドドット・デザイン賞」。1955年から続く国際的な賞で、審査では「古典的な包装に、超撥水」という際立った特徴を付与した」などと評価された。ながれは、撥水加工の独自の技術を高め、2006年から発売を始めた。脱下請けを目指す取り組みの一つで、2011年11月にグッドデザイン・中小企業庁長官賞、同年12月に米国のデザイン賞を受賞している。東日本大震災をきっかけ

に、月百枚程度の販売が千枚を超えるようになった。昨年度は過去最高の約1万6千枚売れた。全国二十数店舗で販売、大手百貨店からの引き合いもある。取扱店は関東、東北地方が中心で、今後は西



●風呂敷「ながれ」と、右から順に米、独、日の3地域のデザイン賞の賞状●水をはじく風呂敷「ながれ」＝いずれも桐生市浜松町の朝倉染布

販路拡大、海外も視野

日本方面の取り扱い店舗拡大にも取り組んでいく。今年からテレビショッピングでの販売も始めた。

購入層は50～70代が中心だが、風呂敷をあまり使わない30～40代にも広がっている。撥水加工がきっかけで風呂敷を初めて使う人も多いため、ピン、本、弁当箱などの包み方をまとめたチラシも配布している。

もっとも販売が好調なのは、一般的なものより大きな96センチ×96センチのサイズだ。羽織ったり、バッグとして使ったりするニーズもあることから、より大きな商品の開発など品ぞろえも充実させていく考えだ。

伝統的な日本のものなどを海外展開する「クールジャパン」戦略を政府が推進していることから、輸出も検討している。上海の展示会に参加するなど当面は中国中心だが、日米欧でデザイン賞を受賞できたことから欧米への展開の可能性も探っていく。(長屋護)